

「令和4年度 境港市社会教育委員会議」会議録

【日 時】令和5年2月10日（金）15:00 ～ 16:00

【場 所】保健相談センター 研修室

【出席者】足立 光枝、遠藤 恵子、村上 陽生、大池 明、遠藤 緑、足立 かおる、
長谷川 伸、渡部 雅之、岩佐 美幸、増岡 茂、山田 哲男、藤本 晋也

【欠席者】植田 伸一、松篠 利、金津 唯可

【傍聴者】なし

【事務局】山本教育長、松原事務局長、松本課長、角本補佐、木下補佐、嘉賀館長

1. 開会挨拶（山本教育長）

昨年度はコロナで中止。ようやく対面での開催となった。主な活動として教育施策推進大綱の作成や市民交流センターの完成などが挙げられる。市民交流センターは高校生の利活用が多く、また仕事終わりなどに一般の方にも利用いただいている。

図書館の利用は1日約570人で以前より3倍増となっている。先日フィンランド視察に行ったが、図書館をバーチャルリアリティ的（コンピューターによって創りだされた仮想的な空間を現実であるかのように疑似体験できる仕組み）な使い方をしていた。本市の市民交流センターも楽器の演奏やお茶など複合型施設としての役割を果たし、より多くの人に利用してもらいたい。

2. 説明（松本課長）

- ・境港市教育施策推進大綱について
- ・境港市民交流センターについて

境港市教育施策推進大綱はR4年度からR8年度までのものを定めた。

これには学校教育・社会教育の概要が示されている。基本理念を基に公民館活動の充実、体育文化活動、市民交流センター、地域学校協働活動、青少年育成などが基本方針を掲げている。

3. 議題

（1）令和3年度社会教育関係事業実績報告について

成人式はR2・R3の2年度分実施（PCR検査を補助金で実施）、公民館講座はコロナで減少、公民館まつりは代替で展示のみ行った。（角本）

図書館は司書3名追加した。HPリニューアル、ICリーダーによる自動貸出・返却機の導入、読書通帳導入・新館に向けて約17,000冊の図書購入を行った。（嘉賀）

市民交流センターについて、ピアノ購入事業を行った。

海とくらしの史料館のありかた検討委員会実施。9人で計3回会議を行い、観光教育施策への取組みを強化すべきという意見が出た。文化ホール改修については老朽化によりR3年度に基本設計・R4年度に実施設計を行った。（木下）

(2) 令和4年度社会教育関係事業概要について

(事業概要、体育施設・文化施設・図書館実績、年間行事)

成人式は名称を「二十歳の集い」に変更し、昨年度に引き続き実行委員会方式で市民交流センターで初めて実施した。

図書館では、地域で学びあうオープニング事業については地元に係わる9人の講師を呼び講座を行った。旧図書館からの書架搬送、ビジネス支援サービス講演会、訪問・官報検索サービスの導入を行った。雑誌スポンサーについては15社決まった。(角本)

先日は株式会社角屋食品の角谷さんに来てもらい講演してもらった。音読教室や自衛隊への出前図書館も行った。1月末時点で来館者数は105986人。貸し出し人数は37329人。登録者数は17165人。収容冊数は14万冊。市外の人にも多く利用してもらっている。また職場体験の受け入れも行った。(嘉賀)

スタインウェイピアノコンサートなど開館記念式典を行った。鬼太郎カップはR4年度中止で本大会をもって終了。竜ヶ山球場は照明をLEDに替えた。(木下)

補足としてみなとテラス学港はwakey!という島根大学学生が中心となり自学スペースの運営やハロウィン企画など実施。5年後に青年団結成を目標として活動している。社会教育委員の皆様にも応援してもらいたい。図書館では3月21日に詩の朗読も行う。(松本課長)

[質問] 公民館の利用状況はどうなっているのか。コロナで減っているのか。示してほしい。

(山田哲夫)

[回答] 各館ごとにまとめて次の会議で共有します。(松本課長)

4. その他

(1) 教育委員会の点検・評価について(社会教育関係事業)

R3年度点検評価実施。教育委員会の点検・評価の概要としては、学識経験者の知見の活用として森 慶介氏・古徳 寧氏に評価をお願いした。読書活動推進大会開催事業は「読書まつり」を実施し、読書の楽しさ・大切さを伝えることができた。(松本課長)

(2) 社会教育委員について(役割、条例)

(3) 令和5年度社会教育委員会議について

令和5年4月～5月に1回目を予定、令和6年1月～2月に2回目を予定している。

委員の皆さんに意見を言ってもらえるような形にしたい。

第1回は任期が6月に切れるのでその時期に開催することも検討している。(角本)

[質問] みなとテラスでのフリースペースでの飲食についての取り決めはあるか?(渡部雅之)

[回答] 運用については指定管理制度となっている。基本スタンスとしてはできるだけ規制しない方向で考えている。ただ使用方法に問題があれば、注意して改善する。(松本課長)